

SHOUTS III

ゆーき

101 It was just as I ...

キミが遺した足跡に
ボクのを重ねても、
戻ってきたのは
ヒトりの時間。

誰も知らないベッドは
軋まないベッドで。
ボクらはそれを軋ませて。

眠れない夜の雫は
乾いた石に染み入って。
黒く広がるボクらの夢が
ほら、また気化していく。

由来成分は涙。

つくられた想い出。

無添加なので、

保存には気をつけて。

二人の間に漂った空気を

周りの人たちが

「それが恋だよ」と

勝手に命名してくれて。

ボクたちはただ仲がいいだけなんだと

そう思っていたのに。

それだけでよかったのに。

気がつけば今日を生きていて。
ボクがキミを抱いたなら、
キミは目をつむったままで
ボクに心をあずけてくれる？
腐敗しきれなかった花びらが
今でも散っているのは贖罪。

ほら、

あなたが落とした雨が降る。

ほら、

わたしが落としたふりをした。

止まない雨に

二人の終わり。

不完全なパーツでできあがる。

不完全な完成形。

予期できるほうが無理な話。

こんなに雨で安心するなら、

止まなければいい。

横たわる想い。

立ち上がらないキミ。